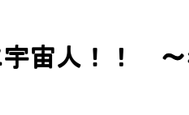
サンタに河童に宇宙人！！　～年末お楽しみ会～

クリスマスの季節になると、小池学園には毎年たくさんのサンタさんがやって来てくれます。でもそれだけではありません。なんと宇宙人と河童さんが来てくれました。

毎年１２月に行われる年末お楽しみ会。今年も、遥かスペースワールドから飛んできた「ラッキーラビットとヴィッキーラビット」、イオンモール二島店から若松のゆるキャラ「河童のワカッピー」が来てくれました。「ラッキー・ヴィッキー」と「ワカッピー」に子供たちは大興奮。大きな歓声があがります。記念撮影をしたり、ハグされて照れてしまう子どもたちなど、表現は様々ですが、皆それなりに喜んでいます。ワカッピーと子どもたちとのジャンケン大会。ワカッピーは河童なので人間のジャンケンは苦手！イオンのお姉さんが代わりに札を出してくれます。「ジャーンケン、グー」

最後は、サンタさんやワカッピーと輪になって踊りました。教えてもらったダンスを上手に踊る子、恥ずかしいのか動作が小さい子、全力で踊る高校生、皆さんの個性が良く出ていて、それぞれに楽しんだようです。日を改めて、２４日にはみんなの楽しみにしている夕食会がありました。希望の多かったメニューを取り入れ、ケーキやジュースも出て、お腹一杯だったようです。みんなの笑顔でいっぱいのお楽しみ会、来年はいったい誰が来てくれるでしょうか？
妖怪でしょうか？（井上）



小池だより

2015.1.16

第２６３号

発行　小池学園
〒808-0132
北九州市若松区
大字小敷 583-1
TEL　093－601－2261
FAX　093－601－0353
ホームページ
http://www.koikegakuen.jp/

今後の予定とお願い

３／１５（日）平尾台クロスカントリー（希望者のみ参加）

☆年も明け、２月以降で２回目のモニタリング（年度末の懇談）を予定しています。担当職員より日程の調整をさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■　北九州市福祉事業団基本理念

北九州市福祉事業団は、
人と知識と技術を結集して、
一人ひとりの幸せを大切にする
社会づくりに貢献します。

基本方針

１　利用者一人ひとりの人権を尊重した支援を行います。
２　利用者が地域の一員として社会参加できるよう支援していきます。
３　地域に開かれた施設をめざし、地域支援・地域交流の促進に努めます。
４　安全で快適な生活環境の整備を図ります。
５　職員は研鑽を積み、資質向上に努めます。

小池学園再整備に向けた新たな取り組み

小池学園では、平成２８年度新園舎建替えに向け、より家庭的な雰囲気とプライバシーを確保した生活空間を提供できるよう、ハード面では個室化やユニット化などを予定しています。同時に、ソフト面でも再整備に伴う新たな役割を模索し、内部で検討を行っています。その一つが『社会不適応が見られる中軽度児童の支援プログラム作成に向けた職員育成事業』です。

様々な理由によって適切な養育環境に恵まれない児童の中には、心理的なケアを必要としたり、社会的に不適切な行動を学習してしまったり、不登校などの困難を示す場合があります。また、適切な家庭環境や家族関係の再構築といった課題を有する場合もあります。このような社会化にむけて、職員のより専門的な支援スキルの修得と実践を重ねていきたいと考えています。

今年度は３か年計画の１年次として、職員を対象としたセミナーやワークショップを実施し、プログラム開発に向けたコンサルテーションを受けています。講師を定期的に招き、事例を通した職員のスキルアップや支援プログラムの作成につながる指導を受けています。また、先駆的な取り組みを行っている施設や機関として南高愛隣会や大村椿の森学園などを見学して、私たちが向かう方向の現状や課題を把握し、より明確な目標設定を行っています。

新たな取り組みに対する不安はありますが、コンサルテーションを重ねるにつれて見通しが少し見えてきたように感じています。障害児入所施設として今まで培ってきた支援の内容を整理し見直しつつ、新たな取り組みに努めたいと考えています。（高井）

ホームページをリニューアル

昨年１０月より、小池学園のホームページをリニューアルしました。小池学園として多くの人に伝えたいことを、それぞれ見やすく、分かりやすく作り直しました。デザインも、今までのものよりもやさしく、気軽に読んでいただけるのではないかと思っています。少しボリュームはありますが、関心のある画面にすぐにアクセスできるように作成しました。是非ご覧ください。リニューアル以前のブログ『こいけからの風』や小池だよりは古いホームページからでないと閲覧できませんが、リニューアル以降に公開したものは、新しいホームページからご覧できます。ホームページアドレスは、
http://www.koikegakuen.jp/　です。

編集後記

今年度も、様々な方々に支えられた１年でした。皆様のご厚情に感謝申し上げます。私たちも、常に支えられる側ではなく、地域の小さな福祉でも支える側として子どもたちにも福祉の心を育んでいくことが役割かなと思います。

ご寄贈、ボランティア、本当にありがとうございました。

・天理教若松支部　様　　・小倉東ライオンズクラブ　様
・九州納豆組合　様　　・北九州生花商協同組合　様
・前田地区青少年育成会ブラスバンド部　様　　・小松福寿会　様
・株式会社スペースワールド　様　　・八幡ライオンズクラブ　様
・若松イオンボランティア事業部　様　　・アコム株式会社　様
その他個人で入られているボランティアの皆様

「写真の掲載はご本人、もしくは保護者の了解を得ています。」

シリーズ　学園の生活

たんぽぽ棟

≪日常風景　～お勉強編～≫

平日の午後、子どもたちは学校から帰っておやつを食べた後は、別棟の和室で学習する子どもと居室で学習する子どもにわかれて、それぞれ宿題や個別の課題を行っています。夏休み期間でもほぼ毎日見られる光景です。

小池特別支援学校の１年生から５年生までの子ども達は、和室に行ってお勉強します。浅川小と中高生の子ども達は、下校時間が違うので自分の居室で勉強をします。夏休みや冬休み、春休みなど長期のお休みの時には、午前の９：30～10：30 が学習時間です。和室では、一人用の机がそれぞれに準備されていて、自分の課題に集中できるように工夫しています。と言っても、遊びも大好きな子どもたちですから、「勉強ヤダー！」「宿題したくない」という声も聞かれますが、いざ勉強時間になると真剣な顔をして取り組んでいます。ほぼ毎日の出来事なので、お勉強が生活習慣の一つとして定着しています。その子ができること、ちょっと頑張りが必要なことを学校の先生にも協力していただきながら、少しでも将来の役に立つよう学力の向上に努めています。

（末武）

ひまわり棟

≪余暇の過ごし方　～テレビゲーム今昔～≫

保護者の皆さまはテレビゲームをしますか？子どもの頃遊んだな～という方、今も・・・という方もいらっしゃるかもしれません。私が子どもの頃に楽しんだ「ゲームボーイ」は、モザイク絵の様な画面から電子音が流れてきて、最新のゲームと比べると単純な作り。だからでしょうか、想像力が働いてモザイク絵はハリウッド超大作に見え、電子音はオーケストラに聞こえていました。

その「ゲームボーイ」、学園では今も現役です。往年の名作が揃っており、子ども達はかわりばんこに楽しんでいます。画面を見ながら体を揺らし、嬉しそうに笑う彼らを見ると、いったいどんな風景が見えているのだろう、ちょっと見せてよ、そんな風に思います。

「ゲームは１時間までよー。」と言われて、なごり惜しそうに返してくるＡ君。分かる、分かるよその気持ち。Ｂ君は音を楽しんでいる。そんな使い方もあるんだね。

今年のクリスマス、サンタさんからは最新のゲーム機を頂きました。ゲームボーイと同じ様に、大切に使っていきましょう。（井上）

※　＜小池まつり＞つづき

保護者の方以外にも、学校の先生や放課後クラブの職員、通学生の皆さんにもお越しいただき、にぎわうことが出来ました。参加していただいた皆様、ボランティアでご協力いただいた方々、ありがとうございました。

（守永）

観光農園の思い出　　ーたんぽぽ棟のバスハイクー

去年の９月 21 日、たんぽぽ棟の親子バスハイクがありました。毎年行っているバスハイクですから、行ったことのない場所を探すのも一苦労です。子どもたちに希望を聞きながら、ガイド本を見ながら・・・。今年は初めての試みで、山陽小野田市にある観光農園「花の海」へ果物ならぬ野菜の収穫体験に行ってきました。収穫の秋とあって、さつまいも・おくら・ピーマン・枝豆・とうもろこしなどなど色々な野菜が栽培されていて、収穫することができました。学園で栽培している野菜もありましたが、野菜の種類も畑の規模も違います。普段は調理した状態でしか見る機会の少ない野菜ですが、それぞれの野菜がどのようにして出来ているのか直接見て触ることができて、子ども達には貴重な体験となったと思います。昼食は、花の海で収穫された野菜を使った特製カレーとサラダです。子ども達の大好物でもあり、あっという間に完食していました。お替りができると良かったかな～！！

昼食の後は、下関海響館のすぐ隣にある「はい！からっと横丁」へ立ち寄りました。観光農園もちょっと変わっていいけれど、やっぱり観覧車やメリーゴーランドなどで遊ぶ方がいいかな？みんな思い思いにアトラクションに乗って楽しんでいました。（末武）

小池まつり

10 月 18 日(土)　秋晴れの空のもと、今年も小池まつりが開催されました。今年は、学園の建替え工事の一環として旧成人男子棟などの解体工事が行われており、おまつり会場を児童棟前の小公園に移して開催しました。いつもの会場よりも狭いので心配しましたが、実際にはちょうど良い広さでした。たんぽぽ棟からは妖怪ウォッチの踊り、ひまわり棟からはバンド演奏とそれぞれ子どもたちの出し物があり、子どもたちが楽しめるものでした。また、今年も来ていただいたマクドナルドのドナルドさんのアトラクションで盛り上がりました。模擬店開店後も北九州市立大学大道芸サークルの皆さんが披露する演芸を見ながら、焼きそば、じゃがバター、ミートボール、スクリーム、ゲームと思い思いに楽しんでいました。保護者の方や兄弟が来られた家庭では、秋晴れの下で楽しく過ごしていただきました。

※　３ページへ

（北九州市立大　大道芸）